



KSK あまねだより

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会
222-0035 横浜市港北区鳥山町1752
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階
横浜市車椅子の会内
編集 あまね共同作業所
239-0805 横須賀市舟倉1-12-1
TEL 045-833-4035 FAX 046-833-4062
2020年12月2日 第441号 (頒価20円)

緊急事態宣言が再び発令される

昨年来、地球温暖化の影響で気候変動が激しく風水害をはじめとして多くの被害がでています。また新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、従来の地震や風水害の時の避難所でも新たな対策を求められています。地球温暖化に歯止めがかかり、少しでも災害が少なくなつて欲しいと祈るばかりです。

昨年あまねだよりを新しい形にした最初が「緊急事態宣言が解除される」というタイトルで文章を記載していました。しかし、新年明け早々に再び「緊急事態宣言」が発令されました。今回は1月8日～2月7日までということですが、首都圏の感染者の拡大傾向を考えると延長も在り得るのではないかと思います。

社会福祉法人あまねでは、生活介護の事業所で昨年緊急事態宣言が解除になった以降も、通所制限を続けていたために、全く変わりなく継続することが出来ています。グループホームも支援センター（移動支援・居宅介護）も細心の注意を払いながら事業を継続しています。

これだけ感染が拡大している中では、いつだれが罹患してもおかしくない状況です。私たちの事業所で、もし感染者がでたならば、関係するところに速やかにお知らせし感染を食い止めていくことが私たちの役割だと思っています。そのためには事業所間の連携が速やかに出来る関係にしていけることが大切だと思っています。

新型コロナウイルスの感染が一日も早く終息することを願っています。 (海原・記)



神奈川県のホームページから 障害者支援施設の支援内容に係る県の関与の検証について



12月11日付けの神奈川県のホームページに県立障害者支援施設における身体拘束ゼロの実現に向けての取り組みの記載がありました。また、12月24日のホームページには津久井やまゆり園の支援内容に係る「県の関与」の検証についての記載がありました。

津久井やまゆり事件に端を発した、施設の虐待事案に対して「津久井やまゆり園利用者支援検証委員会」の中間報告を引き継ぐ形で作られた「障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会」では、6つの県立障害者支援施設の虐待をはじめとした検証が実施されている最中です。

施設だけではなく、それを管理監督する神奈川県の責任も問われています。県議会においても様々なやり取りが県知事とされています。

「津久井やまゆり園利用者支援検証委員会」（旧委員会）から「県のモニタリングは利用者支援の状況や支援の質等を積極的に把握し改善しようとする姿勢が乏しかった」との指摘を受け、この指摘を厳しく受け止め、県の関与の実態を自ら検証することとしました。

福祉子どもみらい局長をトップとする検証チームを構成し、2020年8月から12月まで 2016年～2020年までの監査・モニタリング・日頃の運営指導・意思決定支援の各業務の担当者32名からヒアリングを実施しました。検証結果として、運営指導に当たる県職員の身体拘束実施の3要件の解釈が非常に甘く「身体拘束はやむを得ず仕方がない」ということが職員共通の認識であり、運営指導の担当者は、かながわ共同会の資産の内部留保問題を最重点課題として取り組んでおり、不適切な身体拘束を改善していく認識に至らなかった・・・と記載されていました。

黒岩知事は、身体拘束されたのが自分だったら・・・という立場にたって検証を進めていきたいと要望書を提出した後の懇談会で話されていました。

今回、記者発表された内容を見ると「監査の対象が身体拘束等が行われていた支援の内容よりも、内部留保（法人全体の余剰資産）」に重点が置かれていたことが明確になりました。今、横須賀市で行われている指導監査も、支援の中身よりも書類上・会計上のことを指摘されることが多くあります。仕方がないのかもしれませんが、支援の中身についてきちんとものを申す人が少なくなったと実感しています。県は今後の取り組みとして、二度と不適切な支援が見逃されることがないように「障害者支援施設における利用者目線の支援推進検討部会」の意見をいただき、しっかりと組織体制を作っていきたいとしています。今後の対応を注意深く見守っていききたいと思います。 (海原・記)

冬季物販・カレンダー販売にご協力 いただきありがとうございました。

皆様にご協力をいただきました、冬季物販とカレンダー販売は

物販 476点 (昨年比+183点)

カレンダー 231点 (内仲間のうた関係114本) 昨年比+35本

お茶 52本

ふきん 37セット 売り上げは 1,008,580円でした。

* 収益は利用者工賃と運営費に充当させていただきます。

賛助会にご協力をお願いします。



社会福祉法人あまねでは、利用者の方のニーズに対応し、事業の継続とより良い支援体制にしていけるために、多くの方々に法人を理解いただき、賛助会員としてサポートをお願いしています。賛助会費は税額控除に対象になります。

お問合せは 046-833-4035迄

ふきん販売にご協力をお願いします

3枚1組 660円

ご注文はあまねまで 833-0723

資源回収ご協力ありがとうございます

11月実施分は22357.5kg

奨励金は89,430円でした

次回日程は確認してください

2月の予定

2月12日(金) 資源回収(岩戸・池田町)

2月13日(土) 資源回収(舟倉・久比里・若宮台)

コロナウイルス拡大の影響で会議や仲間が楽しみにしているグループ・クラブ活動も当面中止になっています。元の状況に一日も早く戻れることを願っています。